



平成 28 年 6 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社プロパスト
代表者名 代表取締役 津江 真行
(コード：3236、J A S D A Q)
問合せ先 取締役管理本部長
兼経営企画部長 矢野 義晃
(TEL. 03-6685-3100)

平成 28 年 5 月期 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、以下の通り、最近の業績の動向等を踏まえて、平成 27 年 7 月 13 日付「平成 28 年 5 月期 決算短信」において公表いたしました平成 28 年 5 月期の通期業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

また、当社が保有している固定資産の評価の見直しを行ったことに伴い、減損損失等に関する特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の通期業績予想数値の修正（平成 27 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,178	455	232	228	8.34
今回の実績値 (B)	12,530	920	576	319	11.80
増減額 (B-A)	2,351	465	343	91	—
増減率	23.1%	102.2%	148.1%	40.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 5 月期)	10,608	587	218	215	8.29

2. 修正の理由

平成 28 年 5 月期の通期業績予想における売上高については、前回予想値を 2,351 百万円上回る 12,530 百万円となる見込みであります。主な要因としては、不動産販売事業が当初計画を

2,380百万円上回る12,261百万円で着地する見込みであることによるものです。これは、三浦プロジェクトが計画通りに売却が完了したことに加えて、当初計画していなかった収益ビルの新規物件の取得及び売却が実施できたことが寄与しております。

営業利益については、前回予想値を465百万円上回る920百万円となる見込みであります。固定資産の一部を売却したことから、賃貸事業の営業利益は当初計画を44百万円下回る66百万円で着地する見込みであるものの、不動産販売事業における新規物件の取得及び売却等の実績計上により、同事業の営業利益が当初計画を538百万円上回る1,576百万円で着地する見込みであることが寄与しております。

経常利益については、前回予想値を343百万円上回る576百万円となる見込みであります。不動産販売事業において当初計画値を406百万円上回る1,255百万円を計上する見込みであることが寄与しております。同事業の分譲物件や賃貸物件の売却において当初計画を上回る収益を確保することができたことに加えて、当初計画していなかった新規物件の売却が順調に進展したことが寄与しております。

当期純利益については、前回予想値を91百万円上回る319百万円となる見込みであります。以下の理由により、減損損失等に関する特別損失を272百万円計上することにより、当期純利益については、319百万円となる見込みであります。

3. 特別損失の内容

(1) 損失発生の内容

平成28年5月26日付で公表いたしました「固定資産の譲渡方針決定に関するお知らせ」で決議しましたことを受けて、当社が保有する固定資産に減損の兆候があると判断したことから、評価の見直しを行い、減損損失等に関する特別損失を計上する見込みとなりました。

(2) 損失金額

平成28年5月期第4四半期会計期間において、特別損失を272百万円計上する見込みであります。

以上